

だて復興・再生 ニュース

伊達市

第 23 号

【編集・発行】伊達市放射能対策課 〒960-0692 伊達市保原町字舟橋180 本庁舎3階 ☎575-1003

●平成27年2月26日発行

除染は目的ではなく、手段である

飯舘村や浜通り地方の強制避難地域の除染が本格化してきていることなどから、除染のニュースが新聞に多く掲載されています。

これは当該地区の放射線量が依然として高く、かつ除染の対象面積が膨大なため大掛かりな工事となって予定より大幅に遅れていることや、中間貯蔵所の建設について地元との話し合いなどが報道されるためです。このため、除染ばかりがクローズアップされ、除染があたかも放射能対策の中心と受け取られかねない感があります。

当市においても、市長への手紙で「放射線量の高低に関係なく、全面除染をすべきだ」という意見が寄せられたりすることから、「除染が放射能対策のすべてだ。とにかく除染すれば安心できる」と思う人がおられ、除染の役割に大きな誤解と混乱があるように感じています。

言うまでも無く、「除染」は放射性物質が降り積もった地面から表土を削り取って、別の場所に隔離することで、「外部被ばく」を避けるためのものです。つまり、外部被ばくを避けることが「目的」で、除染は、その「手段」なのです。

当市は一部地区が特定避難勧奨地点に指定されたように線量が高い状況でしたから、外部被ばくを避けるため、いち早い空間線量の低減を目指し、他市に先駆けて除染に取り組みました。また、当市は空間線量が地域によって高い、低いがあったので、空間線量の程度に応じた除染手法を採用し、更に迅速な除染を実現しました。

これは、外部被ばくの程度は放射線量の高さと同様に被ばく時間の長さによるところから、できるだけ早く除染を行って線量を下げることが有効だからです。

まもなく満4年が経過し、5年目となる現在、放射線量はその「半減期」（線量が半分になる経過年数で放射性物質によって異なる。セシウム134は2年、セシウム137は30年）によって、例えばセシウム134については4年経過していることから、1/2の更に1/2、つまり1/4程度に低減されておりますから、既に除染しなくても良いレベルに下がっているのです。

ですから、入念なモニタリング（面的な線量測定）によって、しっかりと線量の状況を把握し、放射能には「近づかない、遮蔽する、取り除く」を基本に、ホットスポットなどに注意することが大事であると考えております。

また、今後はむしろ、内部被ばく対策が重要で、知らないうちに放射性物質を食べてしまったりする場合がありますから、厳格な食品検査やWBC（ホールボディカウンター）による定期的検診など自分自身で身を守る注意の必要があります。

伊達市長 仁志田 昇司

だて
復興・再生
最前線

子どもの屋内遊び場 「スマイルパークほばら」がオープンします

放射線を気にせず子どもたちが思い切り遊べる施設として、伊達市保原町の屋内遊び場が3月25日にオープンします。

この施設は復興庁の「子ども元気復活交付金」などを活用して整備され、施設内には高さ5mネット遊具や、そこから降りるすべり台をはじめ、子どもたちの「わくわく」を刺激する遊具をそろえています。

愛称は市民から募り、「スマイルパークほばら」となりました。次代を担う子どもたちがこの「スマイルパークほばら」で健やかに育ち、愛称のとおり、笑顔があふれる施設となることを願います。

●場所 / 伊達市保原町上保原正地内11-2(保原第二保育園跡地)



「すこやか運動教室」 ～遊びの中での心身トレーニング～

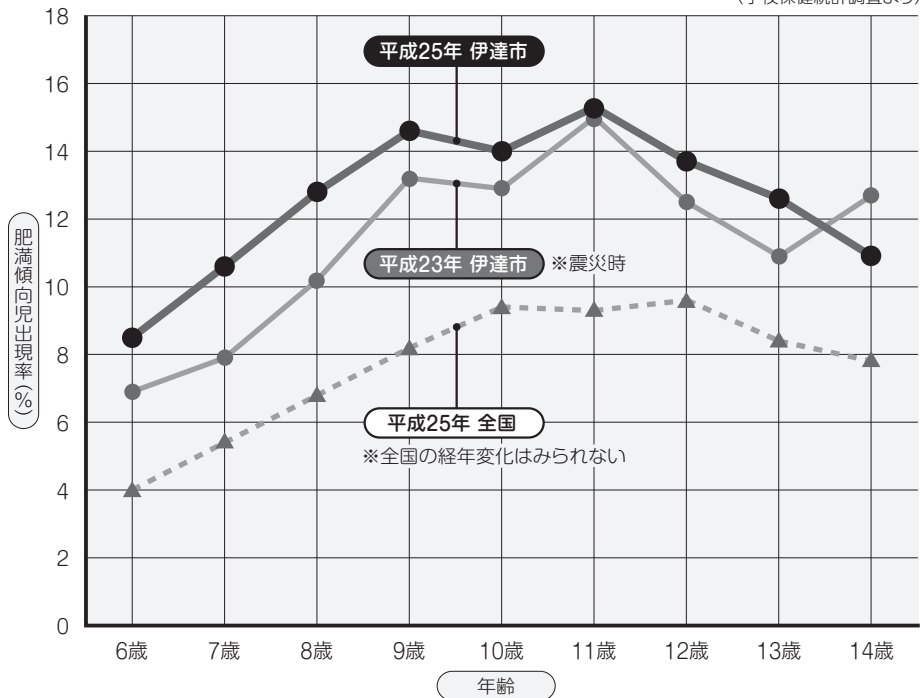
伊達市では放射線の影響によるストレスや外遊びの制限から子どもの運動能力の低下や肥満傾向児童の増加が続いています。

右表のとおり震災後に子どもの肥満傾向がすすんでいることから、市内の小学校を対象に「すこやか運動教室」を取り組みました。



●肥満傾向児の出現率

(学校保健統計調査より)



肥満傾向児出現率 (%)

年齢

市内19小学校での取り組み

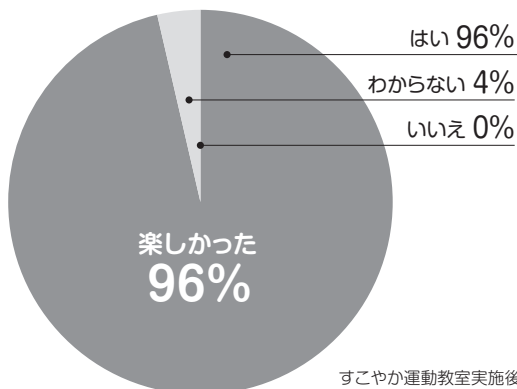
市では児童の運動不足・肥満予防事業として、「すこやか運動教室」を実施しています。今年度は、市内の19小学校で、のべ110回、児童4,763人が参加しました。

この取り組みでは、アクティビィ(活動)を通して、身体と脳を動かし、生きる力(ライフスキル)を楽しみながら学習するアドベンチャー教育を取り入れています。大きなねらいは「楽しみながら学習すること」です。実施後のアンケートでは、96%が「楽しく教室に参加できた」と回答、また、「自ら進んで手伝うなど」では、「大変良くしている」34%「良くしている」37%と増えており、運動に対する意識や行動の変化がみられました。学校や地域でも、放課後スクール等の運動の取り組みが始まってきています。

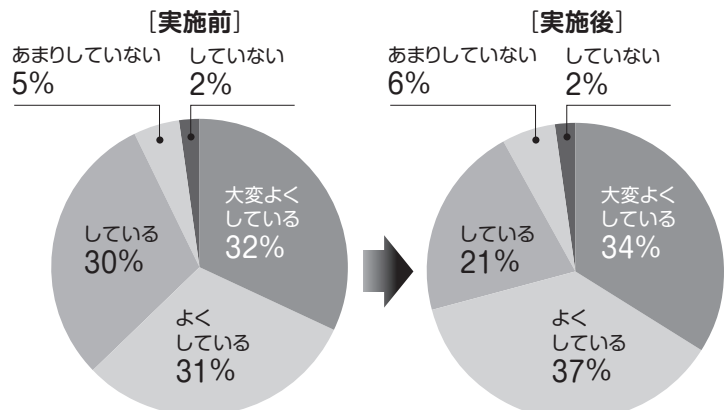
すこやか運動教室では、今後も、児童が「自ら進んで運動に親しみ、体力向上を図ろうとすること」を推進していきます。そして、地域や学校、家族が連携して、子ども達が元気に運動できる機会を増やし、遊びの中での心身トレーニングをしていきましょう。

すこやか運動教室 児童アンケートから

●すこやか運動教室は楽しかったですか



●自分から進んで手伝うなど(自主性)



すこやか運動教室の講師である(株)コーチズ大内克泰さんに
「子どもの時期における運動と環境づくりの重要性」について、解説していただきました

●運動が脳を鍛え、学習と生活に反映する

平成25年10月に、本誌に「子どもをすこやかに育む環境づくり」と題して、成人までの成長期に如何に大きな体力の山を作るかが子ども達の寿命を左右するという寄稿をしました。

震災以降、不活動習慣が生活環境を背景に進んでいることが1月下旬に「肥満度」としてメディアに発表され、抜本的な運動習慣の取組みが必要とされています。

2年目を迎えた「すこやか運動教室」は休み時間から授業として、1時限の中に複数のアクティビティが実施できるように進化しました。学校授業に対する子ども達の意識を変化させ、今まで経験した事の無い「チャレンジ」によって小さな「成功」を積み重ねて、自身の存在意義を認識させる為のプログラムです。

その中には、世界保健機関の提唱する「ライフスキル(生きる能力)」教育や、脳を活性化させる脳トレのエッセンスが含まれています。単純に言えば、「遊び」の中で心身のトレーニングをしているわけです。ある世代の方々にしてみれば、「当たり前」な事です。

そもそも幼少期から「外遊び」で育むライフスキルや社会常識は、テレビゲームやスマホ等のメディアの普及により欠落し、車社会が身体活動の減少を促し、それに伴う自律神経の失調が睡眠時間を減らしています。睡眠時間の減少は、脳内回路の成長を滞らせ、学習能力をも低下させる悪循環に入ると言われています。また、成長期の食事の制限に於いてはむしろ運動不足になり易く、体力減少を加速させる原因にもなり兼ねません。そしてこれは、我々成人にも同じ事が言えます。

●子どもの環境を地域で変える

「運動オンチ」は遺伝しないことが、最近の研究で明らかになってきています。子どもはダイヤモンドの原石です。磨き次第で輝き方が変わる、無限の可能性を秘めています。「不活動習慣」「食習慣」「時間管理習慣」が遺伝をし、依存すると脱出が困難です。



伊達市内の小学校でも正課時間内にできる限りの時間を使い、運動時間を設定していますが、学校での生活時間は1日の約30%であり、その中でも身体活動時間は更に8%程度です。授業カリキュラムが詰め込まれている中、活動量の確保には限界があるので、放課後や帰宅後の遊びが最も有効な活動時間になります。

生活環境(バス通学他)により放課後や週末に活動量を増やすことが単独では困難なご家庭も多いかと思われます。今年度から数ヶ所の小学校で放課後スクールを始めました。「前例が無い」と尻込みせず、地域・学校・教育委員会・市の連結した様々な取組みが急務と考えています。またそのような提案も継続していきます。伊達市の将来を担う子ども達に、「伊達市に生まれて良かった」・「伊達市に戻りたい」と思ってもらえる故郷は、我々大人が創り、伝えて

いきましょう。

その為には、環境を変革できる脳を我々が持ち、創造性豊かな子ども達を育む努力が必要です。伊達市から様々な著名人が多く輩出される将来を目指して、一緒に始めませんか?

すこやか運動教室講師
(株)コーチズ 大内 克泰

仮設焼却炉施設が火入れ、4月より本格稼働

伊達地方衛生処理組合は、構成する伊達市、桑折町、国見町、川俣町で生じた除染廃棄物のうち、草木や落ち葉等の可燃物を焼却し、減容化する仮設焼却炉施設の整備を伊達市霊山町石田地内で行っていましたが、このほど施設が完成し、2月12日火入れ式を行いました。

式には、管理者の仁志田昇司伊達市長や工事関係者ら約70名が出席し、安全祈願の後に、環境省鈴木事務次官ら代表7名により、焼却炉の電源スイッチを押して点火しました。

仁志田管理者は、「放射能汚染からの復旧、復興を進める上で必要な施設であり、完成は大きな前進。環境対策と安全対策に万全を期した運営に取り組んでいく」とあいさつしました。

この仮設焼却炉は、試運転の後、4月から本格稼働を予定しています。1日当たりの処理能力は130トン、平成31年6月までに15万4千トンの処理を計画しており、焼却灰は敷地内に一時保管のうえ、中間貯蔵施設に搬出されます。



自主的除染に係る東電賠償請求について

自主的除染費用の賠償については、第19号でお知らせしているところですが、すでに賠償金を受領した方の所要日数をお知らせします。これから手続きをする際の参考にしてください。

①東電コールセンター(※)に電話をする

- 2週間後、請求書ほか書類一式が届く

②東電に請求書、添付書類(領収書など)を発送する

- 2週間後、請求書受付のお知らせ(はがき)が届く
- その1週間後、支払明細書、同意書用紙が届く

③東電に同意書を発送する

- 2週間後、本人指定口座に振り込みになる
- その1週間後、東電から振込通知書(はがき)が届く

※東京電力(株)福島原子力補償相談室(フリーダイヤル)

☎0120-926-404(9:00~21:00)

問 市民生活部 放射能対策課 ☎575-1126

放射能相談センター休業日変更のお知らせ

平成27年4月1日(水)から放射能相談センターの休業日が右記の通り変更となり、日曜日が休業となります。

問 市民生活部 放射能対策課 ☎575-1003

4月1日(水)から

	開所日	開所時間
変更前	火曜日～日曜日	8:30～17:15
変更後	月曜日～土曜日	8:30～17:15

市内各地域の放射線測定結果

放射線測定値(市測定、※印は国測定) (単位:マイクロシーベルト/時間)

測定地点	2/17	2/10	1/27
伊達総合支所 正面駐車場	0.17	0.17	0.17
梁川総合支所 正面銅像前	0.16	0.16	0.16
保原本庁舎 正面駐車場※	0.22	0.22	0.22
富成郵便局 県道路肩	0.20	0.20	0.20
富成沼田地区石名坂 屯所入口県道路肩	0.46	0.46	0.45
富成グリーンタウン タウン内公園	0.32	0.32	0.33
富成十区集会所 入口	0.48	0.47	0.52
霊山総合支所 駐車場	0.19	0.19	0.18
霊山パーキング 駐車場中央※	0.18	0.18	0.20
坂ノ上集会所 入口	0.30	0.29	0.30
八木平バス停留所 回転場中央	0.21	0.21	0.23
小国ふれあいセンター 駐車場※	0.22	0.22	0.24

測定地点	2/17	2/10	1/27
下小国中央集会所 入口※	0.28	0.23	0.30
岩代小国郵便局 国道路肩	0.22	0.22	0.21
末坂バス停留所 県道路肩	0.41	0.39	0.42
大木バス停留所 県道路肩	0.20	0.19	0.20
月舘総合支所 駐車場	0.14	0.13	0.14
国道399号飯館村境 国道路肩	0.33	0.30	0.33
月舘相葎公民館 県道路肩	0.34	0.36	0.37
掛田上組集会所 市道路肩	0.31	0.31	0.32
掛田日向前団地 集会所前	0.26	0.23	0.26
県道白石月舘線飯館村境 県道路肩	1.05	0.90	1.08
大柳字栃窪 市道路肩	0.35	0.36	0.38

問 市民生活部 放射能対策課 ☎575-1003